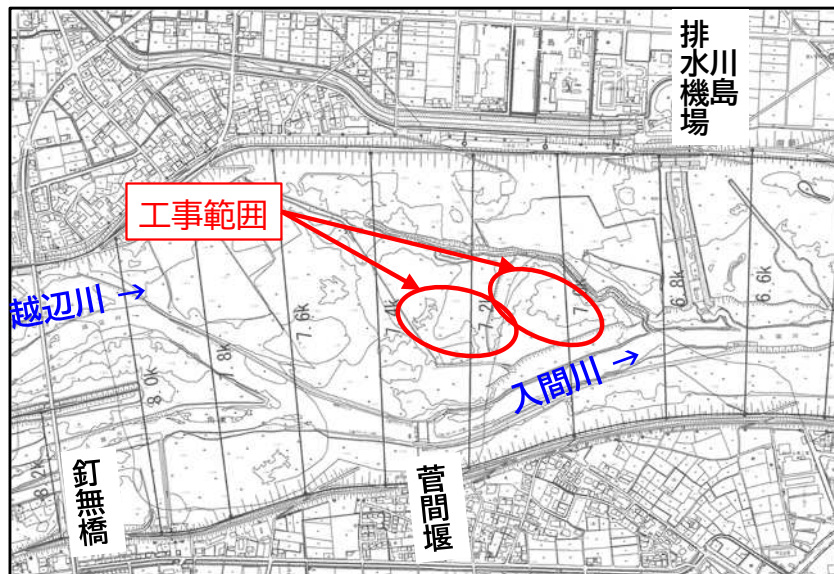


斜め写真

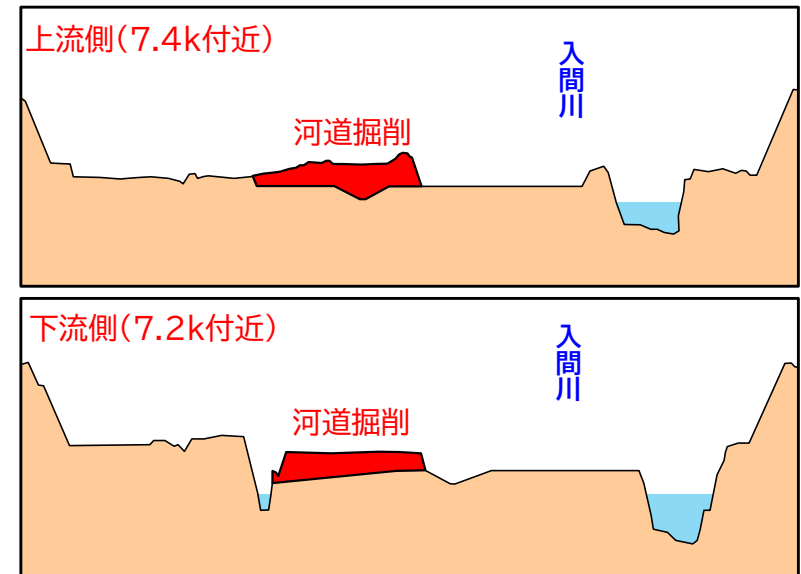


○着 手:令和4年4月
○完了予定:令和5年2月末

平面図



標準断面図



凡 例
[Red box] 工事範囲

工事の目的

流下能力向上を目的とした河道掘削。



写真① 釘無橋から下流方向



写真② 下流側から上流方向

「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより

主な環境情報

- ・調査範囲内は、令和2年から河道掘削を実施しており、主に裸地、草地、樹林地などで構成されている。
- ・草地では、オギ、セイタカアワダチソウなどが確認されており、動物では、ホオジロ、キアゲハなどが確認されている。
- ・調査範囲周辺の樹林地では、重要種(鳥類)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。
- ・地盤を切り下げることによって、冠水頻度が上がり、多様な動植物が生息する場となることを期待する。
- ・重要種(鳥類)については生息状況を定期調査し、状況を把握しながら施工する。